

令和 2 年度

第 2 回 八代市地域公共交通会議 会議録

令和 2 年 8 月 1 8 日作成

八代市地域公共交通会議 会長 田中 浩二

【通知日】 令和2年8月4日（火）

【委員】 29名（うち、網掛けの3名は同意・不同意の判断を行う立場にない）
（敬称略）

区分	団体・役職	氏名
会長	八代市 副市長	田中 浩二
委員	産交バス（株） 八代営業所長	坂田 秀貴
委員	（株）麻生交通 代表取締役	麻生 伸一
委員	（一社）熊本県バス協会 専務理事	富田 廣志
委員	（一社）熊本県タクシー協会 専務理事	吉田 光義
委員	（一社）熊本県タクシー協会 八代支部 事業者代表	神蘭 敬八郎
委員	八代市地域婦人会連絡協議会 会長	三栗野 恵美子
委員	八代市老人クラブ連合会 会長	米田 常男
委員	八代市地域協議会連絡会議 会長	徳田 武治
委員	坂本住民自治協議会 事務局長	上村 明
委員	千丁校区まちづくり協議会 事務局長	忒島 道則
委員	鏡まちづくり協議会 事務局長	徳田 司
委員	東陽まちづくり協議会 副会長	橋永 高德
委員	泉まちづくり協議会 会長	松永 純一
委員	九州運輸局 熊本運輸支局 首席運輸企画専門官（企画調整担当）	西脇 考志
委員	九州運輸局 熊本運輸支局 首席運輸企画専門官（輸送・監査担当）	多賀谷 如美
委員	全九州産業交通労働組合 書記長	貢 博之
委員	国土交通省九州地方整備局 熊本河川国道事務所 八代維持出張所長	松尾 仙彦
委員	熊本県 県南広域本部 維持管理課 主幹兼課長	堀田 敬二
委員	八代市 土木課長	小原 聖児
委員	八代警察署 交通第一課長	大村 幸治
委員	熊本県立大学 教授	柴田 祐
委員	八代校長会 副会長（金剛小学校長）	米村 雄二
委員	九州旅客鉄道（株） 熊本支社 営業担当課長	城戸 洋平
委員	肥薩おれんじ鉄道（株） 代表取締役社長	出田 貴康
委員	熊本県 交通政策課課長補佐	浦本 雄介
委員	氷川町 総務課長	稲田 和也
委員	八代市 経済文化交流部長	中 勇二
委員	八代市 総務企画部長	丸山 智子

【所管課】 企画政策課 企画係（直通：33-4104）

【協議事項及び協議結果】

協議事項 1

路線バス・乗合タクシーの見直しに係る国への申請内容について

【資料 1】

(協議結果) 同意：26名

不同意：0名

(ほか3名は、上記の判断を行う立場にない)

委員の過半数以上の同意を得たことから、八代市地域公共交通会議設置要綱第8条第3項の規定により、協議事項1については原案のとおり協議が調ったこととする。

協議事項 2

八代市地域公共交通計画（骨子案／概要）について

【資料 2】

(協議結果) 同意：26名

不同意：0名

(ほか3名は、上記の判断を行う立場にない)

委員の過半数以上の同意を得たことから、八代市地域公共交通会議設置要綱第8条第3項の規定により、協議事項2については原案のとおり協議が調ったこととする。

【質問等】

< A 委員 >

1. 路線バス・乗合タクシー見直しに係る市の財政負担について
 - ・ 路線毎の比較増減
2. 五家荘地区の現在の公共交通の確保策について（路線バスの廃止後）
 - ・ 予算と実績
3. 八代市地域公共交通計画（骨子案／概要）について
 - ・ 資料2 P3右側「将来公共交通ネットワーク」のマップに五家荘地区が抜けているのはなぜか
 - ・ 別途案が示されるのか
4. 八代市地域公共交通計画に係る財政計画は示されるのか

⇒事務局回答

【別紙 回答】のとおり

令和2年度第2回八代市地域公共交通会議 質問票に係る回答について

質問者 A 委員

質問 1. 路線バス・乗合タクシー見直しに係る市の財政負担について

(回答) 別添資料をご参照ください。

質問 2. 五家荘地区の現在の公共交通の確保策について(路線バスの廃止後)

(回答) 路線バス椎原線が平成 31 年 3 月をもって廃止となり、平成 31 年度(令和元年度)より五家荘地域移動手段確保支援事業(グループタクシー補助事業)を実施しております。

平成 31 年度予算額は 300 万円に対して、実績 62 万円、令和 2 年度予算額は 150 万円となっております。

また、次期計画の目標の中に、五家荘地域において「自家用有償運送の活用を検討し、生活拠点までのアクセスを確保する」ことを盛り込み、地域住民の方々との協議しながら公共交通の確保策を検討する予定としております。

質問 3. 八代市地域公共交通計画(骨子案/概要)について

(回答) お示した資料のP3の将来公共交通ネットワーク図では五家荘地区の地図が途中で切れてしまっており、また五家荘地区からの凡例も示していませんでした。大変失礼しました。次回お示しする資料では修正したものを掲載いたします。

質問 4. この計画に係る財政計画は示されるのか

(回答) この計画に係る財政計画についてはお示しする予定はございません。

理由は以下のとおりです。

- ・実施する個別の事業に係る事業計画が、5年間という計画期間中の社会情勢の変化や公共交通の利用状況の変化に応じたものとなり、その積算、特に運行事業者の運行費用に掛かる部分の積算が困難であるため。
- ・事業実施に係る予算については、市全体の財政計画における予算の範囲内とすることを前提としているため。

令和2年8月12日 八代市地域公共交通会議事務局(八代市企画政策課)

1. 路線バス・乗合タクシーの見直しに係る財政負担額見込み

I. 路線バスの見直し			財政負担額 (推計/年)
	路線名	変更内容	
	文政線 (イオン八代～宮原系統)	■乗合タクシー(定時定路線)への転換及び減便 平日 7便→5便 土日祝 8便→6便 ※平日に運行する文政線(八代駅～宮原系統)4便は便数を維持したまま引き続き産交バスが運行	△9,517 千円
1	日奈久温泉ライン (高田経由)	■土日祝便の起終点変更及び運行時刻の見直し 土日祝16便中5便の起終点をウインズ八代から平日と同じ日奈久下西町に変更	△140 千円
2	日奈久温泉ライン (金剛経由)	■土日祝便の起終点変更 土日祝10便中4便の起終点をウインズ八代から平日と同じ日奈久下西町に変更	△112 千円
3	市街地循環バス 「まちバス」	■サテライト八代への乗入及び運行時刻の見直し	1,779 千円
4	市街地循環バス 「みなバス」	■運行時刻の見直し 鉄道との接続改善をメインにダイヤの見直しを行う	—
小 計			△7,990 千円
II. 乗合タクシーの見直し			
	路線名	変更内容	
1	平和町線	■本町三丁目停留所(黒川製菓前)を桜十字リハビリテーション病院構内に移設 ■橋本医院前～九電アパート前間に停留所を新設	—
2	産島線	■築添町に停留所を新設	—
3	百済来～坂本線(土日祝)	■鶴喰地区、温泉センタークレオンに区域拡大(平日便と合わせる)	—
4	中津道～坂本線	■金曜日に坂本病院15:30発を新設(現行は月曜・水曜・金曜に1往復/日運行)	309 千円
5	深水～八代線	■運行日に木曜日を追加(現行は火曜に1往復/日運行)	612 千円
6	小浦～種山線	■運行区域を拡大し、赤山地区に停留所を新設	—
7	落合～種山線	■運行区域を拡大し、五反田、新里、西原地区に停留所を新設	—
8	岩奥～落合線 古園～落合線	■2路線を1路線に統合	△668 千円
小 計			253 千円
III. 乗合タクシー路線の新設(路線バスからの転換)			
	路線名	主な内容	
1	鏡町線①	鏡南西部～鏡四つ角～有佐駅(約17km 50分程度)	1,883 千円
	鏡町線②	鏡北西部～鏡四つ角～有佐駅(約9km 20分程度)	
	鏡町線③	鏡南東部～千丁太牟田～鏡四つ角～有佐駅(約9km 20分程度)	
2	高田線	肥後高田駅～本野町～高下東・西町～市役所(約5～6km 20分程度)	3,796 千円
	文政線	路線バス文政線から転換	6,321 千円
小 計			12,000 千円
IV. 乗合タクシー(その他)※7月の第1回会議で協議していない案件			
	路線名	変更内容	
1	日奈久～坂本線	百済来地区へ運行区域を拡大、日奈久下西町に停留所を新設	—
合 計			4,263 千円

※延期するもの

路線バス			
	路線名	変更内容	
	坂本線	■運行時刻の見直し及び減便 平日 25便→20便 土日祝 21便→13便	△7,463 千円
乗合タクシー			
	(その他坂本地域路線)	■路線バス坂本線のダイヤ見直しに合わせて乗合タクシーのダイヤを調整	—
小 計			△7,463 千円